

More Fun さらに楽しもう!
新居浜市

周辺スポット



マイントピア別子

別子銅山の施設跡を利用したテーマパーク。観光坑道が整備され鉱山鉄道の走る端出場ゾーンと、貯鉱庫跡や選鉱場跡などが残る東平ゾーンの2カ所に分かれています。
新居浜市立川町707-3 ☎0897-43-1801 🕒9時～18時(施設や季節により変動あり) 🌨冬季に休業期間あり 🎫入園無料(施設利用料は別途) 🚗400台(無料)



日暮別邸記念館

煙害対策のため新居浜沖の四阪島に移した製錬所が見渡せる場所に建てられた住友家別邸を移築・復元。パネル展示などを通し製錬所と煙害克服の歴史などが学べます。
新居浜市王子町1-11 ☎0897-31-5017 🕒9時～16時30分 🌞月曜、祝休日(日曜の場合は開館)、10月17日・18日、12月29日～1月3日 🎫無料 🚗50台(無料)

グルメ



ふぶざく

湯せんしたフグの皮や身、カワハギの肝などを紅葉おろしとぼん酢で味付けした郷土料理。10月中旬から4月中旬にかけて、市内の料亭や居酒屋で提供されています。

☎0897-33-3920(新居浜料飲組合)

新居浜 ふぶざくご馳走マップ 検索



じっくり見てみよう

- 1 平成に設けられたつり橋のワイヤーを支える主塔。
- 2 橋は渓谷を流れる小女郎川の上約20メートルの位置にあります。
- 3 経済産業省の「平成19年度近代化産業遺産」にも選定されました。



愛媛県新居浜市

おとしばし
遠登志橋

新居浜市立川町620-1
完成年:1905(明治38)年
形式:鋼製単アーチ橋
用途:坑水路、人道の併設橋
橋長:48m、幅員2.4m
国登録有形文化財



銅山と麓の
往来を支えた
鋼製アーチ橋

新居浜市は、1691(元禄4)年開坑の別子銅山から発展した工業都市。明治時代、急速な近代化とともに場所を移しながら採掘が進む中で1905(明治38)年、別子山中にある標高750メートルの東平地区と麓を結ぶ道中の谷に架けられたのが、遠登志橋です。ドイツ人技師が設計し、別子鉱業所が施工。現存する国内最古級の鋼製アーチ橋として2005(平成17)年、国の登録有形文化財に登録されています。

東平地区には1916(大正5)年から1930(昭和5)年まで採鉱本部が置かれ、最盛期には作業員とその家族約5000人が居住、生活道として多くの人が橋を行き来したといえます。

1973(昭和48)年に閉山した後、銅山は長らく置き去りにされてきましたが、平成に入ると市が貴重な文化財として保存を開始。遠登志橋も1993(平成5)年、橋のすぐ上に新しいつり橋が設けられました。姿を変えた今は、登山者やハイカーなどに利用されています。

明治時代は「仲持ち」と呼ばれる人が物資を運搬。



●新居浜市観光物産課 ☎0897-65-1261 ●松山自動車道「新居浜」ICから約15分

識者に聞く!

公害対策の役目も担った橋です

新居浜観光ガイドの会 会長
石川 潔さん

遠登志橋は、通行路としてはもちろん、公害対策の役目も担っていました。工業の発展に公害問題は付きもので、銅山を管理していた住友家は、その対策に相当な力を注ぎました。残念ながら現存していませんが、遠登志橋にも採掘時に湧き出す金属を含んだ坑水を排出するための専用の坑水路が設けられ、麓の集落の生活用水に有害な水が混ざらないよう配慮されていました。